

使用済 GIGA スクール端末等の処分業務仕様書

1. 目的

GIGA スクール構想の下で整備された端末（以下、「GIGA スクール端末」という。）を含め、使用済となったパソコン・タブレット端末等には、いわゆる都市鉱山と呼ばれるレアメタル等の有用な金属が多く含まれており、国内で金属資源の枯渇リスクが顕在化する中、適正に再使用・再資源化を推進する必要性は、国が示した「第五次循環型社会形成推進基本計画（令和 6 年 8 月 2 日閣議決定）」でも明らかにされている。他方、端末内には使用していた児童・生徒個人に紐づくデータが保存されていることから、それを適切に処分する必要性は極めて高い。

こうした背景から、文部科学省・経済産業省・環境省は使用済み端末の適切な処分方法（令和 5 年 10 月 26 日付「GIGA スクール構想の下で整備された 1 人 1 台端末等の適切な処分（再使用又は再資源化）等について」）を提示しており、本業務においては、この方針に沿って適切に処分を行う事を目的とする。

2. 受託条件

- ・ 受注者は、使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律（平成 24 年法律第 57 号。以下、「小型家電リサイクル法」という。）第 10 条第 3 項の認定（使用済小型電子機器等の収集を行う区域に、大阪府を含んでいるものに限る。）を受けていること。または資源の有効な促進に関する法律（平成 3 年法律第 48 号。以下、「資源有効利用促進法」という。）に基づく製造事業者であること。なお、契約時には認定を受けていることを証明する書類を提出すること。
- ・ GIGA スクール端末が情報機器である性質を踏まえ、受注者が 3. 業務内容に定める小型家電リサイクル法の認定計画に基づくパソコン・タブレットの処分実績（前年度の処分実績が本件処分台数を上回ることを十分に有していること）。なお、契約時には前年度の処分実績を示す書類を提出すること。
- ・ GIGA スクール端末の所有権が和泉市（以下、「発注者」という。）に帰属している性質を踏まえ、受注者は発注者が進める環境政策において実績（小型家電リサイクル法に基づく処理実績）があることが望ましい。

3. 業務内容

- ・ 受注者は、発注者の小中学校・義務教育学校で使用していた GIGA スクール端末等を回収し、小型家電リサイクル法、資源有効利用促進法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号。以下、「廃棄物処理法」という。）の広域認定制度によるもの。）において認定を受けた受注者の再資源化事業計画に従い、回収した GIGA スクール端末等を再使用・再資源化する。
- ・ GIGA スクール端末に含まれるデータの消去を、8. 処分方法に定める方法で確実に

実行し、処分台数分を一括してデータ消去完了証明書を発行する。

4. 履行期間

契約締結日から令和 8 年 3 月 31 日まで

5. 引渡し対象品

- ・ GIGA スクール端末（学習者用コンピュータ・指導者用コンピュータを含む。）
 - ・ メーカー・型番：Lenovo 300e 82GKS00200
 - ・ OS：Windows
 - ・ 記憶媒体：eMMC
 - ・ GIGA スクール端末の付属品（AC アダプタ・タッチペン等）

6. 予定数量・引渡し場所等

別紙 1 に記載の内容による。

7. 引渡しの方法

発注者および受注者は、対象品を引渡す日時・場所・品目・数量等について事前に協議を実施する。受注者は内容に基づき、引渡しに必要な車両等を手配する。

8. 処分方法

受注者は、引渡しを受けた対象品について、下記を満たす方法により処分を実施すること。

- ・ 「小型家電リサイクル法」を遵守し、受注者が関係省庁に提出した認定計画等に準拠した方法で処分（再使用・再資源化）を実施する。
- ・ GIGA スクール端末が情報機器である性質を踏まえ、盗難や情報漏洩等が発生しないように、作業場所全体を監視可能な複数の防犯カメラの設置、作業者の不正防止策（記憶媒体等の持ち込み・持ち出し等を防止する方法、入退室のログ管理・保存、専用制服の着用等）の実施、異常を検知する警備システムの導入等、万全なセキュリティの確保・不正防止に必要な処置を講ずること。
- ・ 処分（再使用・再資源化）にあたっては、発注者が定める教育情報セキュリティポリシーに基づいたデータ消去を行うこと。具体的な方法として、作業ログの取得が可能な専用ソフトを用いた上書き消去方式・ブロック消去方式・暗号化消去方式等で確実に消去を行うこと、故障等により上書き消去方式が不可能な端末は、データの復元が不可能といわれる状態まで記憶媒体を物理的に破壊（SSD・eMMC を使用している端末は 2mm を目安に粉碎処理すること等）を行う等、当該データの重要性分類に応じた適切な消去方法を用いること。なお、HDD 用のデータ消去方法ではデータが残存している可能性があるため、データ消去方法としては不適切である。

- ・ データ消去完了後は、端末毎の個体番号・消去方法・消去完了日時・作業者名等が記載されたデータ消去完了証明書を発行し、発注者が端末毎にデータ消去作業の完了を確認できるようにすること。また、データ消去完了証明書に記載された内容を5年間保管し、発注者の求めに応じて開示できるように保存しておくこと。
- ・ GIGA スクール端末を再使用する場合は、発注者が所有していたことが明らかなシール等は全て削除すること。

9. 業務完了の確認

受注者より提出を受けたデータ消去完了証明書で、各端末のデータ消去作業が完了した事を確認し、さらに引渡し品が再資源化された報告をもって履行されたものとみなす。

10. 協議事項

発注者の担当職員との連絡を密にして業務に当たること。一連の各対応については、仕様を満たしているか、作業実施前に発注者と確認を行うこと。なお、本仕様書に定めのない事項については、発注者の担当職員と協議しその指示に従うこと。

11. 留意事項

(1) 損害賠償

委託業務の実施に伴い第三者に与えた損害は、発注者の責に帰すべきものを除き、全て受注者の責任において処理すること。

(2) その他

- ・ 受注者は、契約時に受託条件に合致していることを証明する書類を提出すること。
- ・ 本業務では、個人情報を含む機器を取り扱う可能性があるため、受注者は、業務の従事者に対し個人情報保護に関する研修を十分に行い、引渡した端末に含まれる個人情報の保護に努めること。
- ・ 予定数量は変動する可能性がある。最終台数は発注者受注者協議の上で最終確定するものとする。
- ・ 受注者は本業務が困難となる事由が生じた場合は、業務を一時停止し、直ちに発注者へ当該事由の内容及び発注者が受ける影響が最小限となる措置を講じる旨を、速やかに書面をもって通知すること。
- ・ 受注者の受託作業開始後であっても、仕様を満たせないことが判明した場合、発注者は契約を解除する事ができる。その場合の補償等は一切行わない。

(別紙1) 予定数量・引渡し場所

No	名称	住所	台数
1	国府小学校	和泉市府中町 2-5-20	755 台
2	和気小学校	和泉市和気町 4-9-1	655 台
3	伯太小学校	和泉市伯太町 2-24-22	532 台
4	池上小学校	和泉市池上町 3-14-45	216 台
5	黒鳥小学校	和泉市黒鳥町 1-6-5	558 台
6	芦部小学校	和泉市芦部町 224-3	596 台
7	北池田小学校	和泉市池田下町 1670	703 台
8	いぶき野小学校	和泉市いぶき野 3-3-1	879 台
9	南池田小学校	和泉市納花町 181	556 台
10	緑ヶ丘小学校	和泉市緑ヶ丘 3-4-1	629 台
11	青葉はつが野小学校	和泉市はつが野 1-50-1	953 台
12	北松尾小学校	和泉市唐国町 3-3-19	724 台
13	幸小学校	和泉市幸 2-3-1	157 台
14	信太小学校	和泉市尾井町 2-8-17	489 台
15	鶴山台北小学校	和泉市鶴山台 1-9-1	327 台
16	鶴山台南小学校	和泉市鶴山台 4-1-1	222 台
17	光明台北小学校	和泉市光明台 1-35-1	479 台
18	光明台南小学校	和泉市光明台 3-8-1	324 台
19	和泉中学校	和泉市伯太町 1-2-1	971 台
20	郷荘中学校	和泉市寺門町 1-14-35	735 台
21	石尾中学校	和泉市万町 930	761 台
22	北池田中学校	和泉市いぶき野 3-4-1	823 台
23	南池田中学校	和泉市鍛冶屋町 226	895 台
24	富秋中学校	和泉市富秋町 2-2-89	186 台
25	信太中学校	和泉市鶴山台 1-1-1	547 台
26	光明台中学校	和泉市光明台 1-28-1	591 台
27	南松尾はつが野学園	和泉市はつが野 6-45-1	947 台
28	槇尾学園	和泉市仏並町 207 番地の 1	466 台
29	和泉市役所庁舎第 1 分館	和泉市府中町四丁目 11 番 23 号	24 台

なお、予定数量と回収後の数量が異なる場合は、受注者の拠点で確認できた実数を正として扱うものとする。

引き渡し時期は12月下旬から1月上旬の間（学校の冬休み期間）で行うものとする。